

「やまがた幸せ探検隊」県民インタビュー

「やまがた幸せ探検隊」の山形県住みます芸人ソラシドのお二人が県民の方々に「地元の魅力」や「山形に暮らす幸せ」についてインタビューしました。

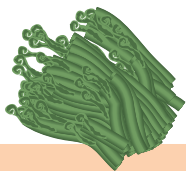


細矢 誠治 さん (山形市)



山形市の“ソウルフード”どんどん焼きを販売しています。どんどん焼きはお祭りなどで販売されている村山地方の名物で、大正時代からあると言われています。

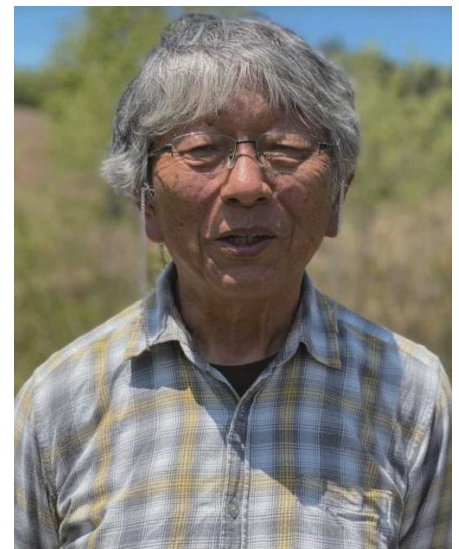
山形は、どこにでも温泉があり、食べ物がおいしく、住んでいて幸せを感じる場所だと思います。



小松 保男 さん (川西町)

温井平わらび園を管理しています。福島県出身ですが、わらびやきのこの栽培がたくて10年ほど前に移住しました。山形県はわらびの生産量が日本一で、その中でも川西町のある置賜地方が県内の約6割を占めています。

川西町は自然豊かな環境で居心地が良いです。若い人たちにも川西町に来て自然豊かなところで暮らしてほしいですね。わらび栽培をやりたいという若い人がいたら、いま自分たちがやっていることを引き継ぎたいとも思っています。



せいの まゆみ さん (西川町)



400年以上の歴史がある月山和紙で「ぼんぼり」と呼ばれるキャンドルホルダーを作っています。曾祖母が月山和紙を生業としていたので、昔から月山和紙の束が家にありました。元々は趣味で作っていて、仕事として始めたのは10年前です。自分が作ったものを見てもらえたり、求めてもらえたりするのは、とても嬉しいです。

地元、月山の魅力は、四季がはっきりしているし、雪解けた後の芽吹きがきれいなところです。冬が真っ白な分、春がすごく美しいです。



熊谷 喜美子 さん (鮭川村)

滞在型の森林公園「鮭川村エコパーク」で副支配人として勤めています。鮭川村は多くの種類のきのこが栽培されている“きのこの里”です。

四季折々で山の景色が豊かなところも魅力です。冬は雪が多くて真っ白ですが、春になると驚くほど早く緑色になります。その様子を毎日ウキウキ、ワクワクします。



大沼 有一 さん (真室川町)



養蜂所と農家民宿を経営しています。農家民宿は、はちみつの良さを伝えるために8年前に始めました。農家民宿は楽しいです。山菜料理や川魚など民宿で出す料理は妻にお願いしていて、いなくなると困りますね。

真室川町に生まれてからここで生活して、自然がすごく良いところだと今でも思っています。ここからは出ていきたくないですね。



清野 真紀 さん (西川町)

月山志津温泉の旅館で働いています。旅館は江戸時代初期に創業し、今年で400年以上になります。昔は月山にお参りに行く方々が多く宿泊していたそうです。

月山は四季折々の自然が楽しめますし、季節ごとの旬の料理も楽しめるのが魅力だと思います。

